第4回忍性さん勉強会概要報告

◇開催日時 平成28年9月5日(月)19時~21時

◇会場 次世代教員養成センター2 号館 モデル教室

◇参加者 今井・中村(済美南)、山下・伊知地(伏見)、石田(済美)

北村・中澤 (奈良教育大学)

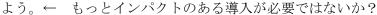
◇内容

指導案の検討

(1)「忍性さんの生き方から学ぼう」中村先生

6年生: 社会科・道徳・総合

- ・忍性さんのことは全然知らないので、 行基さんから学習に入っていく
- ・共通点「菩薩」
- ・行基さんのことは知っているのに、忍性さんのことは知らない。だから調べ



- ・活動のゴールは新聞づくり (NIE) につなげる 吉澤先生に新聞を見ていただいて、記事の優先順位、内容などについてコメントをもらいたい。
- ・博物館のチラシに掲載されている数字は、インパクトがある。

ハンセン病患者救済記事 施業した服の数

主発問:「なぜ、菩薩号をおくられたのだろうか」

導入:数字を前面に出して、関心を高めてはどうか。

(2)「十種の請願について知る」今井先生

5年生:総合的な学習の時間・世界遺産学習

- ・読み解き、現代でも通じるところがあるんじゃないか。
- ・学級の十種の請願をつくる。

十種の請願を通じて、自分たちの学級でのルールづくりにつなげていく。

- → よくある学級ルールではなく、忍性さんを学んだことが影響していることがわかるルールづくりになるかどうかがポイントだろう。
- ・調べる手がかりはどうするのか?

導入: さまざまな現代の十種の請願にちかいものを提示し、十種の請願もまぜてみせる。比較を通して、なぜ、このような請願をつくったのか、請願をつくった忍性さんとはどのような人だったのか、忍性さんの生き方に迫る。

(3)「福祉を支える「愛」について学ぼう」山下先生

4 年生:道徳

- マザーテレサ→忍性さん
- ・パラリンピック→福祉
- ・福祉って何かなあ。



・DVDを教材にする

主発問「日本のマザーテレサと言われるのはなぜだろう」

導入:パラリンピックの映像(マラソンの伴走者)

日本人女性選手(事故で)立ち直るのに支える人がいた

支える=救済

支える人を支えるものが「愛」だ。

(4)「奈良に関わる「すごい人」を探ろう

5年生:総合的な学習の時間

- ・アブシンベル神殿→旧 J R 奈良駅舎
- ・奈良に関わる宝物とそれにかかわった人物を自由研究にしている。
- ・忍性さんは「すごい人」のひとりとして扱う
- ・その人は何をしたのか、どういう思いでしたのか、その人の思いに迫る
- ・忍性さんの絵本づくり → 発信する

導入:北山十八間戸から見える写真、東大寺も見える、

鎌倉極楽寺の古地図を使ってはどうか。

まず、大きなお墓をみせる

「亡くなってから3つも大きなお墓を作ってもらった人ってどんな人?」 極楽寺の古地図から、普通のお寺と違うところを見つけ、どんな人だったのか想像する

(5) 指導案の形式について

- ・論点整理につづいて、8月1日にもポイントが文科省より提示されたことで、評価の観点が3観点化することは確実だろう。知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう態度・人間性
- ・今回の指導案では、3 観点で作成することを基本とするが、学校の状況に合わせて4 観点でも構わない。

(6) その他

- ・吉澤先生に来てもらいたい学校は、まず吉澤先生に電話連絡し(学芸部の吉澤先生を呼び出しても らう)、日程調整をする。その後、学校長から博物館長・吉澤先生本人宛に依頼文を送付する。
- ・北村・中澤でよければ、依頼文は不要 メールで日程調整し、学校長の許可をとってください。
- ・9月中に修正した指導案をメールで中澤まで送ってください。
- ・実践をされたころを見計らって、第6回目の勉強会を開催し、実践事例にまとめる方法について検 討します。

